

日 時	タイトル名	場所・座席	料 金	チケット 発売場所	未就 学児
11/23 (土)	開演14:00 (開場13:30) 奈良フィルサロンコンサート音楽の土曜日Vol.211 ～悠久の歴史を綴る洋楽の音色～	レパジョンホール 全席自由	2,000円	発売中 [ホ]	×
出演：袴田 さやか (ヴァイオリン)、岡野 弥生 (ピアノ)、旭堂 南歌 (講師) 曲目：タイスの瞑想曲、ユー・レイズ・ミー・アップ ほか 講談 (音楽入り)：古事記『神武東征～遙かなる道～』					
12/22 (日)	開演14:00 (開場13:30) 音楽のおくりもの'24	小ホール 全席指定	500円 *3才未満は無料ですが、 席が必要な場合は有料。	※11月3日(日)10:00～ 発売開始。 ※発売初日の電話予約 13:00～。 [ホ]	○
出演：三の丸少年少女合唱団、やまと郡山城ホール少年少女マリンバ教室 (5・6年生)、大和郡山市音楽芸術協会会員					
令和7年 1/19 (日)	開演15:00 (開場14:30) 奈良フィルニューイヤー コンサート2025	大ホール 全席指定	一般 3,000円 高校生以下 1,500円 (当日各500円増)	発売中 [ホ][口][e+]	×
指揮：平塚 太一、ナビゲーター：大原 末子、演奏：奈良フィルハーモニー管弦楽団 曲目：皇帝円舞曲 作品437 / Jシュトラウス2世、交響曲第7番 / ベートーヴェン ほか					
令和7年 2/23 (日)	開演14:00 (開場13:30) 桂米朝一門会	大ホール 全席指定	一般:3,600円 メイトの会会員: 3,300円 (当日各500円増)	※11月16日(土)10:00～発売。 メイトの会先行発売 11月14日(木)10:00～。 ※発売初日の電話予約 13:00～。 [ホ][口][e+]	×
出演：桂 南光、桂 塩鯛、桂 米團治、桂 吉弥、桂 二豆 ほか					

※チケット欄の記号=発売場所 [ホ]:DMG MORI やまと郡山城ホール窓口 [口]:チケットぴあ [e+]:イープラス



市長てくてく城下町 227

映画『オレンジ・ランプ』

大和郡市長 上田 清

自動車販売会社の営業マンとして活躍していた39歳の主人公に顧客の名前を忘れるなどの異変が起き、医師から下された診断は「若年性アルツハイマー型認知症」でした。市制施行70周年記念事業として上映された映画『オレンジ・ランプ』。

オレンジは認知症支援のテーマカラーで、関心と理解を深めるため9月21日の世界アルツハイマーデーにあわせて、わが国では毎年9月が認知症月間とされ、本市でも先日の郡山城観月会の際に石垣がオレンジ色に染まりました。

認知症という言葉が使われ始めたのはおよそ20年前ですっかり定着しましたが、一方でさまざまな誤解も生まれているようです。

たとえば、認知症という病気があるとか、少しでも物忘れをすると認知症ではないか、とか。

しかし認知症というのはあくまでも状態を表す言葉で、原因となる病気は「アルツハイマー型」「血管性」「レビー小体型」「前頭側頭型」など決してひとつではありません。だからこそ大切なのはしっかりと診断し、それぞれの

病気に応じたケアをすることだそうです。

映画の主人公も診断を聞いて混乱し、家族の気遣いも本人のプレッシャーとなっていくますが、認知症を乗り越えようとしている人たちとの出会いが夫婦の意識を変え「人生をあきらめなくてもいい」「できないことは助けをもらい、できることには挑戦しよう」と考えるようになり、やがて夫婦を取り巻く世界が変わっていくのです。

実話に基づくこの映画。主人公のモデルは診断後は事務職に異動し、勤務を続けながら、不安を抱える人たちの相談や自らの経験を語る講演活動に力を入れておられるそうです。

オレンジ・ランプが伝えようとしているのは、「小さな灯でも、みんなで灯せば世界はこんなに明るくなる。認知症になっても安心して暮らせる社会づくりを！」

本市では、認知症の方やその家族が気軽に立ち寄り、悩みや不安を語り合ったり、専門的な知識を学ぶことのできる『認知症カフェ』が市内14か所で運営されています。是非、近くの地域包括支援センターにご相談ください。